

議 事 録

		作成年月日	
		令和3年3月19日	
日時	令和3年3月18日 10時から12時まで	作成	承認
場所	あわら市役所 正庁	渡邊	
出席者 (敬称略)	別添資料参照 (第5回あわら市道の駅基本計画策定委員会名簿)		
会議の趣旨	第5回あわら市道の駅基本計画策定委員会次第 参照		
資料	別添		
議事内容			
<p>【1. 川本委員長より開会の挨拶】</p> <p>これまで委員会に携わっていただき、誠にありがとうございました。本日は、今まで頂いた意見を基に修正した基本計画の最終形としてご確認とお気づきの点があればご指摘いただきたい。コロナ禍などもあり先が見通せないことも多いが、この道の駅が完成する頃には、また元のように日常を楽しめるような状況に戻っていることを想像して、道の駅を創り上げていければと思う。よろしくお願ひしたい。</p> <p>【2. 協議事項】</p> <p>I. 道の駅「蓮如の里あわら」基本計画 (案) について</p> <p>資料1、2に沿って事務局より説明。</p> <p>[質疑応答]</p> <p>・吉崎地区区長会 末富氏： 吉崎御坊跡について</p> <p>御坊跡は、「蓮如の里よしざき創成会」のメンバーが美化活動を行っているため、きれいな状態を保っている。山門の所に桜が咲き始めており、ここも撮影スポットとして、写真愛好家などから支持されている。資料2P.43でビュースポットとなっているところには、急傾斜地工事の関係で木が伐採され、見晴らしがよくなっている。現在ここに、見晴台の建設を計画しており、設計を依頼している。資金に関しても協議中。これら吉崎御坊跡の整備に関しては、国や市などの関係機関と連携しながら進めていきたい。</p> <p>→三国土木事務所 神門氏： 夫婦で御坊跡を歩いたことで分かったことがある。景観は素晴らしいが、歩行者の通路となる道をきれいに整備するとより良いと感じた。また、ビュースポットの見晴らしは良くなったが、安全対策が出来ていないので、今後その対策を検討していきたいと考えている。</p> <p>→福井大学 川本教授： ぜひ安全対策を考えながら、道の駅と併せて進めていってほしい。行政と地域住民とで連携しながら良いものにしていただきたい。</p> <p>→細呂木地区創成会 酒井氏： ビューポイントについて観光客から好評なので、提案としてもう一つ売りとなる眺望があってもよいと思っている。御坊跡の西側の方から北潟湖を眺望できるビュースポットがあつたらもっと良くなるのでは。ぜひこちら側の整備も三国土木事務所にお願ひできたらと思う。</p> <p>・川本教授： 情報発信コーナーについて</p> <p>道の駅での情報発信の大切さについては、よくお分かり頂いていると思う。具体的にどうすると効果的かということは一概に言えないので、悩ましいところ。ただ情報誌を置いているだけではだめで、様々な発信方法を試して、より良い方法を検討していってほしい。</p>			

・本願寺文化興隆財団 田井野氏：

機能強化施設について

機能強化施設の中心は蓮如上人記念館の鳳凰閣になると考えている。現在の蓮如上人記念館は、土産販売と喫茶を行っているが、全面改装を行い、レストランの出店を計画している。高めの価格設定で、ランチとディナータイムの営業を考えている。ターゲットとして北陸地方、首都圏、関西圏からの観光客を狙い、PR 活動を行っていく予定。このレストランの推計収支は、年間来客 3200 人、年間売上 5000 万円程度と見込んでいる。蓮如上人記念館の湖畔側についても、北潟湖の眺望を生かすために大幅に改修することを考えている。汀公園から記念館の湖畔側を抜けて、北潟湖畔を周遊できるように改修する予定。

また、蓮如館は、展示を一新する。蓮如さんかるたなどを活用した展示などを考えている。

七不思議堂は、建物を移転売却した後、更地とし道の駅のテラスから北潟湖を一望できるようにすることを考えている。

自然館については、利活用方法について協議中。移転も考えている。

→佐々木あわら市長：

機能強化施設ということであるが、道の駅との一体的な施設として、来訪客に自然、文化、食を楽しんでもらえるように計画していく。道の駅と相乗効果を発揮できるように連携して進めていきたい。

汀公園と記念館の間を隔てているブロック塀について、湖畔側の部分を撤去し、汀公園の湖畔側から蓮如上人記念館の湖畔側までを通り抜けられるようにしたいと考えている。

汀公園の護岸について、県と協議しているところだが、何らかの形で改修したいという回答を頂いている。改修が決まり次第、遊歩道などの動線などを決定していく予定。汀公園を活用し、農作物の収穫祭など定期的にイベント開催ができるようにしたい。他の道の駅でも定期的にイベントで誘客を行っており、道の駅に必須なものと考えている。

自然館では、北潟湖近郊の動植物などの自然に関する展示以外にも、近郊には陸上風力発電があり、また洋上風力発電の計画もあることから、子どもたちが自然エネルギーなどについて学べる場所としても活用したいと考えている。

「蓮如の里あわら」は、自然、文化、食など、様々な事に触れられる多機能な道の駅として誘客していきたいと考えている。基本計画策定委員の皆様には、今後とも様々な協力を依頼すると思うが、宜しくお願いしたい。令和 5 年度春の蓮如忌前の完成を目標に、事業を推し進めていく。

→川本教授：

機能強化施設も令和 5 年春の開業を目指すということでよいか。

→田井野氏：

道の駅と合わせて、令和 5 年春の開業に向けて進めていく。

また蓮如の里あわらに関連するイベントとして、第 2 回吉崎経済会議を令和 3 年 10 月 2 日に予定している。昨年の 10 月に第 1 回を開催しているが、この会議は蓮如上人を経済面からみていこうというもので、近江商人の理念「三方よし」を育んだのは蓮如上人であるとしたものである。第 2 回の会議には、伊藤忠商事の会長、株式会社高島屋の社長、株式会社 JTB の会長などに参加して頂く予定。蓮如上人の教えを知っていただくとともに、福井県の魅力を首都圏の企業家に知ってもらうことを狙いとしている。また福井県の企業家とのビジネスマッチングを行うことなども考えている。このイベントは、「蓮如の里あわら」の開業以降も続けていきたいと考えており、首都圏からの観光、あるいは投資に結び付けていけたらと思っている。

・福井県土木部 平林氏：

道の駅に関する取り組みについて

昨年の 1/30 に、4/22 が道の駅の日、4/22～4/28 の週が道の駅週間として制定された。道の駅の日に合わせて大野の道の駅が 4/22 に開業する。県内 16 の道の駅を盛り上げるべく、3/23 に道の駅の日のぼり旗の贈呈式を実施する。コロナ禍の影響かわからないが、道の駅の利用客が向上している。道の駅で実施しているスタンプラリーの参加者も増えており、盛り上がりを感じている。県でもこれらイベントとともに、道の駅を広報していく予定なので、「蓮如の里あわら」の広報についてもご検討いただきたい。

・北潟地区区長会 清水氏：

管理運営者について

管理運営者にはどのような方を考えているのか教えて頂きたい。

→佐々木あわら市長：

運営者に関しては、詳細は固まっていない。あまり行政が運営に関わるような形にはしたくない。駅長も非常に重要である。ぜひ駅長に相応しい人物がいれば、随時ご紹介頂きたい。

→城戸橋副市長：

市が主導となり第3セクターを立ち上げるか、既存企業に運営を任せるか、まだ検討中である。第3セクターを設立する場合、市を含めて関係団体から出資を募り、新たな会社を立ち上げることなども想定している。

・細呂木地区区長会 山下氏：

細呂木地区としての取り組みについて

道の駅に観光客が来てもらえるように、地区を挙げて取り組んでいきたい。吉崎は子供のころから馴染み深い場所であるので、ぜひ盛り上げていきたい。観光客が滞在できるような仕掛けが必要と感じている。ぜひ「蓮如の里あわら」には細呂木地区も関わって、一緒に仕掛けなどを考えていきたい。

→佐々木あわら市長：

道の駅に先だって計画しているあわら市の自転車活用推進計画では、自転車の駅というものを計画していて、「蓮如の里あわら」も自転車の駅の一つとなる予定。またこれに関連して、吉崎、細呂木、北潟湖畔公園、なみまちカフェ、あわら湯のまち駅、芦原温泉駅を繋いで、自転車で周遊観光できるようにする計画を策定しているところ。

・あわら市商工会 赤尾氏：

道の駅への誘客について

道の駅周辺の交通量の少なさが気になっている。そのため、誘客のために積極的な企画・運営を行って頂きたい。「攻め」の誘客が必要。きららの丘等の近隣施設との住み分けをしながら、頑張っていただきたい。

→川本教授：

加賀側から南下してくる移動者をどのように道の駅へ誘導するかも重要となる。加賀市など近隣市町との連携を取りながら進めてほしい。

・あわら市観光協会 前田氏：

情報発信について

体験型のツアーなどをどのように実現するかが難しいところ。また資料2 P.31にも記載があるデジタルサイネージも良い情報発信機器ではあるが、スマホなどの高機能端末が普及しているため、そちらも活かすことができるように、QRコードを活用するといった発信方法などもある。観光協会としては、今後道の駅の運営が始まった際には、情報発信方法などを提案するなど、いろいろと意見を言うような形で関わっていきたい。

・坂井園芸センターきららの丘 深町氏：

道の駅のソフト整備について

道の駅のハード面はおおよそ仕上がってきたかと思う。道の駅の運営などのソフト面も早めに検討を始めてほしい。道の駅の重要なポイントなので、良く考えてほしい。

新たに制定された4/22の道の駅の日というのは、イベントの開催などに非常に良い機会かと思うが、農産物の時期という点では、ほとんどとれる作物が無い時期でもある。そのような農産物の取れない時期に、どのように商品を確保するのかということを考えていく必要がある。きららの丘では、作物の取れない4-5月に、野菜や花などの苗を販売する苗市といったイベントを開催し、好評を得ている。ご参考頂き

たい。

・福井県農林水産部 吉澤氏：

道の駅のソフト整備について

他にも指摘のあった通り、道の駅のソフト面を充実していくことが重要。早めの着手と、道の駅の「売り」の練り上げをお願いしたい。

道の駅への誘客について

この道の駅は、市の中心から外れた所に位置するので、あわら温泉の観光客をいかに誘導するかも考えていく必要がある。そのためには、石川県や加賀市といった近県、近隣市町との連携が大切となるので、力を入れて頑張ってもらいたい。

・福井県交流文化部 鈴木氏：

道の駅への期待

ハード面は仕上がっていると思う。この道の駅の立地は、東尋坊やあわら温泉といった県内有数の観光地とも近く、石川県境にあるという点から、北陸方面からの観光客の誘客において非常に重要な拠点になると思う。ぜひここを目掛けて観光客が集まってくるような場所になってほしい。

道の駅のソフト整備について

道の駅で地域を活性化するためには、道の駅から地域にお金が落ちるような仕組みが必要なので、よく検討頂きたい。

・福井国土河川事務所 宮本氏：

道の駅の今後について

道の駅を核として、地域の観光資源を再発掘し、観光地として盛り上げていこうという試みは素晴らしいと感じている。福井国土河川事務所としても、今後も県や市としっかり連携して、道の駅の登録申請、重点道の駅への応募、交付金の申請などについて協力していきたいと思う。道の駅のソフト整備を進めるためには、道の駅のハード面をしっかりと仕上げる必要がある。タイトなスケジュールだが、完成まで引き続きよろしくお願ひしたい。

・北潟漁業組合 田端氏：

道の駅で販売する商品のアイデア

漁協として道の駅に人を集めるために何ができるのかを考えている。三方五湖ではクロダイを放流しているが、北潟湖の鹿島の森がある辺りは汽水域であるため、同じようにクロダイを放流して、釣り堀などを企画したら一つの売りになるかもしれない。

道の駅の防災についてのアイデア

吉崎地区は、あわら市で津波被害が起こる可能性がある。そこで、汀公園の辺りに避難所を兼ねた展望台などを作ってはどうか。普段はイベントなどの広告塔として活用することもできると思う。

・坂井北部丘陵地営農推進協議会 中林氏：

農産物直売所について

道の駅の農産物直売所は、新規就農者に話を伺ったところ、販売先として関心を持っていると聞いている。そのためには、道の駅の集客力が非常に大切だと感じている。近隣のきららの丘と競合しないように考える必要があるが、道の駅のソフト面整備にあたって、誘客・集客に関係するところをしっかりと整備してほしい。また農産物の販売対象は地元客が中心となると考える。リピーターになってもらえるように、品揃えなどきららの丘と差別化していただきたい。

・あわら市創造戦略部長 小嶋氏：

コメント

道の駅の基本計画はおおむね完成した。今後は、道の駅の管理運営方法等の検討が必要となってくる。

引き続きご意見を頂きたい。新年度からは実施設計も始まるので、ご協力をお願いしたい。

・あわら市土木部長 永井氏：

コメント

新年度からは土木部にて実施設計に移る。加賀 IC 方面からの案内など、道の駅への効果的な誘導が大切だと考えている。今後も継続してご意見を頂ければと考えている。

・あわら市経済産業部長 武田氏：

コメント

道の駅の物販、情報発信、観光案内といった地域振興施設の機能において、経済産業部の役割は大きくなると認識している。そのため、今回の委員の皆様には、引き続きご相談することも多くなるかと思うが、今後ともご協力をよろしくをお願いしたい。

・あわら市議会 山田氏：

コメント

供用開始までのスケジュールが、少しハードだと感じている。また、重点道の駅への採用に向けて頑張っていたきたい。運営面もしっかりと検討し、特に駅長となる人物の選定に注力頂きたい。

・あわら市議会 吉田氏：

コメント

今回の基本計画策定委員会の結果について3月22日の予算決算常任委員会で説明し、採決を取る。その後、23日の本会議にて、令和3年度当初予算での道の駅の予算が可決されるようにきっちり説明をしたい。

II. その他

協議事項なし

【3. 市長コメント】

昨年の秋から、半年間ご協力頂き、ありがとうございました。令和5年春の4月22日開業を目掛けて、準備を進めていく。あわら市の活性化策として、新幹線開業による駅周辺の整備や道の駅整備を進めており、幸福を実感できるまちとして、あわら市を全国に売り出していきたい。今後ともご協力をよろしくお願いしたい。

【4. その他】

・道の駅基本計画の確定版は3月末に委員宛てに郵送させていただきます。

【5. 城戸橋副委員長より閉会の挨拶】

5回に渡る議論ありがとうございました。今回の委員会の終了をもって、この道の駅基本計画の確定させて頂く。3/22に基本計画の確定版を議会に提出し、3/23には道の駅に関する当初予算の議決をいただく予定。当初予算が議決頂き次第、4月に入ってすぐ基本設計のためのプロポーザルを始める。5月に基本設計に入り、8月末目処に基本設計を完成させる予定。タイトなスケジュールとなるが、しっかりと進めたい。今年の秋には、道の駅の運営方法等ソフト面を検討していくことになると考えている。その際はまたご意見を頂けますようお願いしたい。

以上